

工事名：令和８・９・１０年度幕張メッセ施設整備消防設備工事

工 種：消防施設工事

(別添)

３ 総合評価に関する事項

(１) 評価の方法

ア 価格と価格以外の要素がもたらす総合評価は、入札参加者の「標準点」と「加算点」の合計と当該入札者の入札価格で除して得た数値（以下「評価値」という。）をもって行う。

総合評価の型式	簡易型	
総合評価の方法	【評価値＝(標準点＋加算点)÷入札額】	標準点 100点 加算点の最大点 30点

イ 「加算点」は、下表のうち本案件で評価を行う評価項目毎に評価を行った結果、得られた「評価点の合計値」が、入札参加者のうち、最も高い者に「加算点」の最大点を与える。その他の者は「評価点の合計点」に応じ按分して求められる点数を「加算点」として与える。

(２) 価格以外の評価点の算定方法

価格以外の評価項目は、下表によるものとする。申請に当たっては、表下部の記載事項について十分確認を行うこと。

ア 価格以外の評価点を算定する評価項目及び評価基準

評 価 項 目	配点	評 価 基 準	評価点
ア 施工計画 課題 A「工程管理」及び B「安全管理」 に関する施工上の工夫 ※上記課題A、Bのいずれか一方の提案でも可とし、提案数は合計3提案までとする。	10点	総合的に優れる	10点
		適切で優れる	6点
		適切で良好	3点
		適切で可	0点
イ 企業の施工実績 ・過去10年間の同種工事の施工実績により評価 ・同種工事：鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造又は鉄骨造の建築物に係る消防施設工事を元請で施工した工事	2点	国・県等の実績	2点
		市町村等の実績	1点
		その他の実績又は実績なし	0点
ウ 工事成績評定 ・千葉県所掌工事（消防施設工事）における過去の工事成績評定点の平均により評価 ・対象となる評定点がない場合は平均点を65点で評価	6点 ～ －4点	80点以上	6点
		80点未満77.5点以上	5点
		77.5点未満75点以上	4点
		75点未満72.5点以上	3点
		72.5点未満70点以上	2点
		70点未満65点以上	0点
		65点未満	－4点

エ 優良工事表彰対象工事 ・過去2か年度間の工事（〇〇工事）における優良工事表彰対象工事を評価	2点	優良工事表彰対象工事あり	2点
		なし	0点
オ 難工事表彰 ・過去2か年度間の工事（〇〇工事）における難工事表彰を評価 ・優良工事表彰対象工事で評価された場合、難工事表彰は評価対象外	1点	表彰あり	1点
		なし	0点
カ 登録基幹技能者の配置 ・当該工事に関連する種類の登録基幹技能者を配置する場合に評価 ・評価対象者は、元請又は1次下請企業の技能者（元請の監理（主任）技術者を除く）	1点	配置あり	1点
		なし	0点
キ ICT活用工事の実施 ・当該工事において「千葉県県土整備部ICT活用工事実施要領」に基づき、ICT施工技術を活用する場合に評価（詳細は実施要領の別添「千葉県ICT活用工事に係る総合評価方式及び工事成績評定における加点措置一覧表」のとおり） 【対象工種】ICT〇〇工	1点	活用あり	1点
		なし	0点
ク 不誠実な行為 ・千葉県所掌工事における過去の不誠実な行為の有無を評価	0点 ～ －4点	なし	0点
		過去1年間に不誠実な行為による文書注意あり	－2点
		過去2年間に不誠実な行為による指名停止あり	－4点
ケ 主任（監理）技術者資格 ・主任（監理）技術者が保有する資格を評価	2点	1級〇〇施工管理技士又は技術士（技術士は、〇〇工事業に係るものに限る）	2点
		その他の資格	0点
コ 配置予定技術者の施工経験 ・過去10年間の同種工事の施工経験により評価 ・同種工事：鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造又は鉄骨造の建築物に係る消防施設工事を元請で施工管理実績がある工事 ・工場製作期間を除く期間に配置された技術者を評価	2点	国・県等の実績	2点
		市町村等の実績	1点
		その他の実績又は実績なし	0点

サ 主任（監理）技術者の工事成績 ・主任（監理）技術者として施工した千葉県所掌工事（消防施設工事）における過去4か年度間に完成した工事の成績を評価	2点	80点以上の実績あり	2点
		なし	0点
シ 若手技術者・女性技術者の配置 ・若手技術者（40歳未満）又は女性技術者を現場代理人（主任技術者と同等の資格を有する者に限る）、主任技術者、監理技術者（専任特例の場合の監理技術者を含む）又は監理技術者補佐として配置する場合に評価	1点	配置あり	1点
		なし	0点
ス 継続教育（CPD）の取組状況 ・各団体（建築CPD運営会議又は（公社）日本技術士会）の推奨単位の取得状況を評価	1点	実績あり	1点
		なし	0点
セ 地域精通度 ・過去10年間の千葉県内での施工実績により評価	2点	国・県等の実績	2点
		市町村等の実績	1点
		その他の実績又は実績なし	0点
ソ 災害協定締結の有無 ・協定（「地震・風水害・その他の災害応急対策に関する業務基本協定」（〇〇〇〇））の締結を評価	3点	〇〇主本事務所と細目協定の締結あり	3点
		千葉県と基本協定の締結あり	2点
		なし	0点
	2点	千葉県と基本協定の締結あり なし	2点 0点
タ 基礎的事業継続力（BCP）の認定 ・関東地方整備局長から受けた災害時の基礎的事業継続力（BCP）の認定の有無を評価	1点	認定あり	1点
		なし	0点
チ 県内企業の活用 ・当該工事における県内企業の活用状況について評価	2点	・入札参加希望者が県内企業 ・入札参加希望者が県外企業であり、下請負金額の70%以上を県内企業と契約予定	2点
		・入札参加希望者が県外企業であり、下請負金額の50%以上70%未満を県内企業と契約予定	1点
		その他	0点

ツ 営業拠点 ・当該管内（〇〇土木事務所）の本店有無を評価 ・当該管内で細目協定を〇〇土木事務所と締結している支店がある場合は本店ありとして評価	2点	当該管内に本店あり なし	2点 0点
テ 県産品の活用 ・指定された品目（〇〇〇）について当該工事に使用する場合に評価	1点	指定品目の活用あり なし	1点 0点
ト 地域特有貢献 ・千葉県が管理する公共施設での地域美化活動のボランティア実績、千葉県内在住の障害者雇用実績、千葉県内在住の高年齢者雇用実績、千葉県内在住の女性雇用実績を評価	1点	いずれか1件に該当 該当なし	1点 0点
ナ 手持工事量の状況 ・千葉県所掌工事（〇〇工事）における「過去2か年度間の平均受注額」と「年間受注額」との比率で評価	1点	1.0未満 1.0以上	1点 0点
ニ 災害活動実績 ・過去2年間の当該管内（〇〇土木事務所）での災害活動実績を評価	1点	活動実績あり なし	1点 0点

- ・二重取り消し線が付された項目については、評価の対象としない。
- ・「イ 企業の施工実績」、「コ 配置予定技術者の施工経験」、「セ 地域精通度」での“施工実績”及び“施工経験”は、入札公告の前年度までの10か年度間に当該年度の入札公告の日までを加えた期間（平成28年4月1日～入札公告の日）に完成した工事を評価の対象とする。ただし、共同企業体の構成員としての実績は、出資比率20%以上の場合のものに限る。
 なお、「コ 配置予定技術者の施工経験」において、当該期間に出産や育児等による休業期間がある場合は、評価対象期間を延長する。また、配置技術者を途中変更していた場合は、従事期間が最も長い技術者のみ評価する。
- ・「ウ 工事成績評定」の評価対象は、本案件の発注工種における以下の工事とする。
 - 1 過去2か年度間に完成した千葉県発注の予定価格5千万円以上の工事
 - 2 ただし、上記1に該当する工事がない場合は、過去2か年度間に完成した千葉県発注の全ての工事
 - 3 ただし、上記2に該当する工事がない場合は、過去5か年度間に完成した千葉県発注の全ての工事
 なお、ここでの“過去2か年度間”の期間は、入札公告の日の属する年度を除く、過去2年間（令和6年4月1日～令和8年3月31日）をいい、“過去5か年度間”の期間は、入札公告の日の属する年度を除く、過去5年間（令和3年4月1日～令和8年3月31日）をいう。
- ・「ウ 工事成績評定」、「ク 不誠実な行為」、「サ 主任（監理）技術者の工事成績」、「ナ 手持工事量の状況」の、“千葉県所掌工事”とは、県土整備部、農林水産部、総務部、防災危機管理部、環境生活部、教育庁、企業局、警察本部、病院局所掌の工事とする。
- ・「エ 優良工事表彰対象工事」とは、本案件の発注工種において、令和5年度又は令和6年度に完成した工事で、千葉県優良建設工事等表彰要綱第2の1（1）～（5）の全てに該当する工事をいう。

【参考】千葉県優良建設工事等表彰要綱（関係部分抜粋）

（表彰審査対象）

第2の1 表彰審査対象となる県発注工事は、次の各号に定める要件の全てに該当するものとする。

- （1）最終請負金額が500万円以上の工事であること。
- （2）原則として県内業者が受注した工事であること。
- （3）表彰年度の前年度に完成した工事であること。
- （4）契約工期内に完成した工事であること。
- （5）工事成績評定点が81点以上の工事であること。

- ・「オ 難工事表彰」とは、本案件の発注工種において、令和6年度又は令和7年度に千葉県県土整備部難工事表彰要綱に基づく難工事表彰を受賞した工事をいう。
- ・「ク 不誠実な行為」の減点の対象は、以下のとおりとする。
 - 1 千葉県所掌工事における過去の不誠実な行為について、不誠実な行為による「指名停止あり」については過去2年間の指名停止期間にかかるものを減点の対象とする。（事故に関するものは除く。）
 - 2 不誠実な行為による「文書注意あり」については過去1年間の文書注意日にかかるものを減点の対象とする。（事故に関するものは除く。）

なお、ここでの“過去2年間”の期間は、入札公告の日から遡った2年間（例：入札公告の日が令和8年4月1日の場合、令和6年4月1日から令和8年4月1日まで）をいい、“過去1年間”の期間は、入札公告の日から遡った1年間（例：入札公告の日が令和8年4月1日の場合、令和7年4月1日から令和8年4月1日まで）をいう。
- ・「サ 主任（監理）技術者の工事成績」の“過去4か年度間”の期間は、入札公告の日の属する年度を除く、過去4年間（令和4年4月1日～令和8年3月31日）をいう。当該期間に出産や育児等による休業期間がある場合は、評価対象期間を延長する。また、配置技術者を途中変更していた場合は、従事期間が最も長い技術者のみ評価する。
- ・「シ 若手技術者・女性技術者の配置」で評価対象となる技術者は、当該工事で配置が認められているものに限る。
- ・「ツ 営業拠点」の細目協定は、「ソ 災害協定締結の有無」の協定に基づくものを対象とする。
- ・「テ 県産品の活用」は、「1 一般競争入札に付する事項」に記載する主要資材のうち、県産品を使用予定の場合に評価する。
- ・「ナ 手持工事量の状況」の手持工事量比率の算出方法は、以下のとおりとする。

$$\text{手持工事量比率} = \text{年間受注額} \div \text{過去2か年度間の平均受注額}$$

ここでの「年間受注額」とは、入札公告の日から遡った1年間（例：入札公告の日が令和8年4月1日の場合、令和7年4月1日から令和8年4月1日まで）に契約した建設工事の受注額の合計額とする。ただし、工事請負代金額500万円未満の建設工事を除く。

「過去2か年度間の平均受注額」とは、令和6年度及び令和7年度に契約した建設工事の受注額の合計を2で除した額とする。ただし、工事請負代金額500万円未満の建設工事を除く。
- ・「ニ 災害活動実績」とは、当該管内における災害発生時に実施した「ソ 災害協定締結の有無」の協定に基づく応急復旧工事等（パトロールや予防活動を除く）をいう。なお、ここでの“過去2年間”の期間は、入札公告の前年度までの2か年度間に当該年度の入札公告の日までを加えた期間（令和6年4月1日～入札公告の日）をいう。
- ・配置予定技術者を複数提出している場合は、配置予定技術者に係る「ケ 主任（監理）技術者資格」、「コ 配置予定技術者の施工経験」、「サ 主任（監理）技術者の工事成績」及び「ス 継続教育（CPD）の取組状況」の評価点の合計値が最も低い技術者で評価するものとする。なお、工場製作を含む工事で、工場製作期間と現場期間で配置予定技術者を分けて配置する場合は、現場期間の技術者で提出すること。

（3）評価内容の担保

「ア 施工計画の評価」、「カ 登録基幹技能者の配置」、「キ ICT活用工事の実施」、「ケ 主任（監理）技術者資格」、「コ 配置予定技術者の施工経験」、「サ 主任（監理）技術者の工事成績」、「シ 若手技術者・女性技術者の配置」、「ス 継続教育（CPD）の取組状況」、「チ 県内企業の活用」及び「テ 県産品の活用」について、本案件で評価を行う項目の履行状況について確認を行う。このとき、「テ 県産品の活用」においては、記載された数量を履行義務の対象とする。

受注者の責において、評価内容が満足できない場合は、工事成績評定を減ずる。この場合の減点は、考査項目「法令遵守等」の総合評価による減点として3点減ずるものとする。

なお、履行状況が特に悪質と認められる場合は、指名停止措置を行う。

（4）一抜け方式対象案件について

一抜け方式入札の場合、提出する技術資料は各様式1つとし、原則として参加を希望する全ての工事で、各評価項目の申請点数は同一にして提出すること。

ただし、「チ 県内企業の活用」の評価項目で工事毎に申請点数が異なる場合、様式第1号及び様式第11号は参加を希望する全ての工事分について、参加を希望する工事のうち、開札順が一番早い案件に一括して提出すること。

(5) その他

上記に定めのない事項については、入札公告の日時点で最新の「千葉県総合評価方式ガイドライン」によるものとする。